



ミヤリーマークは  
ジュニアの句・首です。

# 市民俳歌柳壇

毎月20日で締め切り、締め切り日  
の翌々月の広報うつのみやで入選  
作品を発表します。

特選

帰りゆく未頼もしき日焼の子

江曾島本町 中村 元吉

●特選の選評 作者の作品へのお気持ちには「サッカーに明け暮れ、日焼けしている小学6年生の孫が、忙しい夏休みの中、訪れてくれた。すっかり体は大きくなり、挨拶や言葉遣いは大人びて、将来が頼もしい思いだが、帰ってゆく時は本当に寂しいものだ」とある。最初の「帰りゆく」の5文字の中にその思いが込められているのがよく分かる。私にもたった1人の男の子の孫がいて同感だ。

## 俳句



加茂都紀女 先生

入選

鰻待つしりとり遊びなどをして

上田町 村上 恒子

噴水の頂点空と握手する

弥生一丁目 大河原 信昭

遠き日の父の好みの浴衣着る

江曾島町 長谷川 昇

白鷺や自惚れしている水鏡

下栗町 大塚 榮子

特選

黄に黒のツートンカラーが良く似合ふ  
LRTは街に溶け込む

下岡本町 緒方 有

●特選の選評 8月26日に待望のLRT（次世代型路面電車）の開業。「黄に黒のツートンカラーが良く似合ふ」全体が黄、窓枠の黒の配色よろしと。闇夜の電光を思わせる。「LRTは街に溶け込む」LRTは、自然、風景、人々の生活の便利さと、わが住む街に、われに惹き込む。期待感大であり、一度は乗ってみたい願望を示してくれた。

## 短歌



安野登美子 先生

入選

しらじらと明けそむ空に梅雨明けの  
宣言のごとかなかなの啼

下岡本町 高尾 信尚

増えたねえずいぶん白髪母が言ひ  
遺影の父は若くなりやをり

下栗町 鈴木 葉子

揺れうごく免許返納済ましけり  
「一緒だったね」長き半世紀

針ヶ谷一丁目 糟屋 宮子

空手道三年前は白帯で  
最後の年は茶帯を取るぞ

姿川第一小学校 谷口 孝太郎

特選

娘から安否確認日に三度

西の宮2丁目 増子 修

●特選の選評 高齢化の中で独居老人が増えている。定年後に規則正しい日々を送ることは難しいが、それ以上に独居で体調を崩さず生活することは難しいらしい。高齢者は、一旦病気になるると治りが遅くなる。そんな親を思う子の心配は尽きず、連絡を取って来るが、健康なうちはありがたいと思いつつも親としては煩わしい。

## 川柳



佐藤隆久 先生

入選

ランドセルよりも重たい未来地図

鶴田町 鈴木 美美子

ヒラリ蝶小さな平和舞いて見せ

岩曾町 川室 正男

健闘のバスケットがぐるぐる凱旋門

下栗町 土屋 勝美

ウエストが秋の実りに攻められる

中岡本町 竹内 竹ノ花

### 俳歌柳壇の応募方法

- 1人各3句（首）以内。俳句・短歌・川柳の併記は不可。
- 対象は市内在住者で、未発表作品。年齢問わず応募できます。
- はがき表面＝住所・氏名・ふりがな・応募する壇名。
- はがき裏面＝作品（漢字にはふりがなも）・作品への思い。
- 毎月20日までに、〒320-8540市役所広報広聴課☎(632)2028へ。
- WEBによる応募も受け付けます。詳しくは、市☎をご覧ください。

ID 1022877



▲市☎

表

宇都宮市役所  
広報広聴課  
住所・氏名・壇名  
ふりがな

裏

作品  
作品への思い  
作品への思い